

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		一葉記念館管理運営				所管	文化産業観光部 文化振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	67	計画事業名	文化施設の活用		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出						[事業開始] 昭和36年度	
		[小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり						[終了予定] - 年度	
		[施 策] ①文化に触れる機会の充実							
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区立一葉記念館条例、同施行規則				
	事業対象	直接の対象 : 区民をはじめ、広く一般 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	樋口一葉は、竜泉寺町に住み、その体験を元に「たけくらべ」を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。							
事業内容 [29年度]	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持・管理 樋口一葉に関する資料の展示公開 記念館の運営及び利用に関すること 								
委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容		(公財)台東区芸術文化財団を指定管理者とし、管理運営を委託している。					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	開館日数	日	291	297	286	295	297	99.3%
		成果指標	入館者数	人	17,000	16,686	20,095	15,738	16,000
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,925		1,338		1,592
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			17,415		16,528		15,073
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0
		総経費			19,340		17,866		16,665
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			3,280		3,610		3,147
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0
一般財源(区負担額)			16,060		14,256		13,518		
前回評価から29年度に改善した事項	例年11月21・22・23日に行っている一葉祭について、集客の多さを見込める木・金・土曜日の23・24・25日で開催し、柔軟な日程調整を試みた。また、人気アニメとのコラボレーション企画第二弾を実施した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	台東区にゆかりの深い作家である樋口一葉の名を冠する唯一の施設である。一葉の文学業績を後世に遺すため、地元住民の熱意に応じて区が建設した経緯があり、引き続き、区立の文化施設として地域に根ざした運営を行い、区民をはじめ広く一般に公開する必要がある。						
	効率性	3	施設の維持管理等に必要な経費を最小限に留め、指定管理による効率的な運営を行っている。						
	手段の適切性	3	台東区にちなむ風景の一葉作品の挿絵を企画展として展示したり、区民や地元町会等と連携し来館者サービスの向上を図るためガイドボランティアを育成するなど、地域に密着した施設運営を行っている。						
目的達成度	3	入館者数は前年度より減少したが、一葉祭等の行事では一定の来館者があり、今後も展示内容の一層の充実を図りながら館運営を行っていく。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
地域に根ざした運営を行いつつ、開館日や行事等の日程を集客が見込めるよう効率的に設定した。台東区にゆかりの深い作家である樋口一葉とその時代の文化に触れられる施設として、一葉祭などの行事では一定の入館者数を確保し、事業は概ね良好である。						維持			